

顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体 三栄林産株式会社

【テーマ】 物語性&体験付加製品開発からの 鈴鹿川流域加太材の再興

背景と目的

- 【背景】・優良木材産地であった「加太材」ブランドの知名度低下。
・ウッドショックなど時流に惑わされる木材価格。
・森林体験と木材利用の実感の乖離。
- 【目的】・付加価値の高い木材製品開発による、ブランド再興と、ウッドショックなど時流に左右されない木材価値の創出。
・森林と木材の有機的な繋がりを実感できる製品開発。
・加太材復興とチーム化による木材起点の地域活性化。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- ①体験付き木材製品「かぶとの森からはじまる、木のある暮らし(仮)」
森林所有者の森にまつわるヒアリングからはじまる、立木での木材選定、伐採、製材、乾燥、カンナ掛け、刻み等の体験付き製品の開発。
チャレンジ要素として、すべてを「化石燃料を使わず人力で行う」要素付加。
- ②ストーリー付き家具製品(木工製品)の開発
加太材での木製家具・木工製品について、森林所有者からヒアリングした伐出森林の個別具体的ストーリーを付加した製品を開発。



実施体制・連携グループ

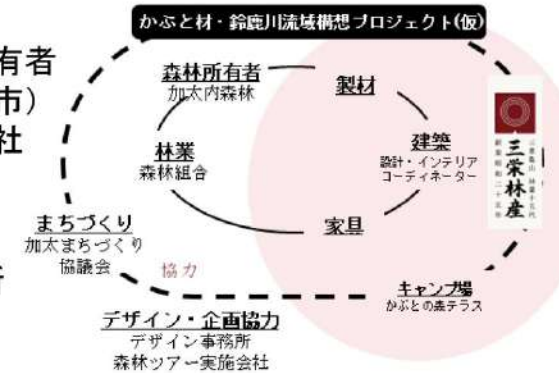
■実施体制(連携グループ)■

- 【森林所有者】亀山市加太の森林所有者
【林業・木材】亀山市森林組合(亀山市)
【製材・建築・家具】三栄林産株式会社
【まちづくり】加太まちづくり協議会

――協力――

- 【デザイン】プロダクトデザイン事務所
(候補:大阪市内)

- 【企画協力】森林ツアー実施会社
(候補:三重県、愛知県、大阪府等)



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①付加価値の高い木材製品等の開発および試作
ストーリー性&体験付加の木材製品等の開発および新製品の試作を行う。
- ②試験ツアーの開催
森林所有者ヒアリング～伐採～製材のツアーを実施。
参加者アンケート・ヒアリング等で改善点などを洗い出し⇒PDCAサイクル
- ③パンフレット製作
開発製品のストーリーを伝えるパンフレットを製作する。
- ④普及啓発
開発した家具等を集客の見込める場所やイベント等で展示。
- ⑤協議会の開催
本プロジェクトを実行するための協議をメンバーで実施。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

付加価値の高い木材製品等の開発および試作

試験ツアーの開催

事業期間中、適宜
協議会開催

パンフレット製作
普及啓発